WILL生産管理ソフト Ver7

導入要件/推奨ハード　説明書

世界のお客様にモノづくり視点による全工程のソリューションを提供し新たな板金市場を創造する

ー第18版ー

2025年6月12日

(株)アマダ
(株)ケーブルソフトウェア

ハードウェア要件 （1/3）

項目		データサーバ用			アプリサーバ用	クライアント用（進捗端末含む）
		クライアント20台以上またはiP進捗あり（※8）	クライアント10～20台（※5）	クライアント10台未満		
CPU		Celeron以上（推奨Xeon）	Celeron以上（推奨Xeon）	Celeron以上（推奨Core i5以上）	Celeron以上（推奨Core i5以上）	Celeron以上（推奨Core i5以上）
メモリ（※2）		4GB以上（推奨16GB以上）	4GB以上（推奨8GB以上）	4GB以上（推奨8GB以上）	4GB以上（推奨8GB以上）	4GB以上（推奨8GB以上）
ハードディスク		100GB以上の空き	100GB以上の空き	100GB以上の空き	100GB以上の空き	100GB以上の空き
OS（※1）（※6）	Win10 Home 32/64ﾋﾞｯﾄ(※7) Win11 Home 64ﾋﾞｯﾄ	×	×	×	△	○
	Win10 Pro 32/64ﾋﾞｯﾄ(※7) Win11 Pro 64ﾋﾞｯﾄ	×	△	◎	◎	◎
	WinSvr2016 64ﾋﾞｯﾄ WinSvr2019 64ﾋﾞｯﾄ WinSvr2022 64ﾋﾞｯﾄ WinSvr2025 64ﾋﾞｯﾄ （※3）（※4）	◎	◎	○	○	△

（注）Celeron・・・ｲﾝﾃﾙ Celeron ﾌﾟﾛｾｯｻｰ相当を指します。 Core・・・ｲﾝﾃﾙ Core i3/5/7ﾌﾟﾛｾｯｻｰ相当を指します。Xeon・・・ｲﾝﾃﾙ Xeonﾌﾟﾛｾｯｻｰ相当を指します。

ハードウェア要件 （2/3）

（※1）Win95/98/ME/XP/Vista/7/8/8.1およびWinSvrNT4.0/2000/2003/2008/2008R2/2012/2012R2は「MicroSoftｻﾎﾟｰﾄ終了製品」なので
ここから除外します。

（※2）実装ﾒﾓﾘはOSやSQL Serverによって異なる為、下記を参考にしてください。
（ﾃﾞｰﾀｻｰﾊﾞ）
・最強の構成は、Xeonﾌﾟﾛｾｯｻｰでﾒﾓﾘ32GB以上を搭載したﾊｰﾄﾞｳｪｱに、 WinSvr2016（64ﾋﾞｯﾄ）以降とSQL Server製品版（2016以降）を
導入したｺﾝﾋﾟｭｰﾀです。
・ SQL Server製品版（64bit）を推奨
SQL Server 無償版（2016Express以降）は、SQL Server使用ﾒﾓﾘが1GBに制限される為、ﾒﾓﾘを大量に搭載していても利用されません。
（ｱﾌﾟﾘｻｰﾊﾞ・ｸﾗｲｱﾝﾄ）
・Win10/11の場合、ﾒﾓﾘ4GB以上（推奨8GB以上）。

（※3）サーバOSの場合、通常は標準で5台分のCAL（ｸﾗｲｱﾝﾄｱｸｾｽﾗｲｾﾝｽ）が付いています。ｸﾗｲｱﾝﾄ接続台数が5台を超える場合、
CAL（5台毎：30千円前後）を追加購入する必要があります。

（※4）サーバOSは、「Datacenter」、「Standard」の2ｴﾃﾞｨｼｮﾝが販売されていますが、弊社では「Standard」以外は動作確認しておりません。
「Standard」ｴﾃﾞｨｼｮﾝのご購入をお勧めします。

（※5）Win10/11は20台を超えるｸﾗｲｱﾝﾄを接続することが出来ません。近い将来ｸﾗｲｱﾝﾄ接続台数が20台を超える可能性があれば、
最初からサーバOSのｺﾝﾋﾟｭｰﾀをご導入頂くことをお勧めします。
ここでいう20台は、IP進捗端末(iphone・ipad・ipodTouch)やWeb進捗端末（ｶｼｵ製ﾊﾝﾃﾞｨﾀｰﾐﾅﾙ）なども含む合計のｸﾗｲｱﾝﾄ接続台数です。
（ｵﾌﾗｲﾝ進捗端末はｶｳﾝﾄしません）

（※6）32ﾋﾞｯﾄOSか64ﾋﾞｯﾄOSかの選択について、特に32ﾋﾞｯﾄOSを選ぶ理由が無ければ、64ﾋﾞｯﾄOSをお勧めします。
（32ﾋﾞｯﾄOSはｱﾄﾞﾚｽ空間の制限上、4GBを超えるﾒﾓﾘは利用されません）

（※7）MicroSoft社から、Win10は2025年10月にｻﾎﾟｰﾄ終了する旨ｱﾅｳﾝｽされています。

（※8）「iP進捗」と記載していますが、iP台帳ﾋﾞｭｰﾜ、iP画像ﾋﾞｭｰﾜ、iPﾀｽｸﾋﾞｭｰﾜ、Web進捗も含みます。

ハードウェア要件 （3/3）

【パソコン購入上の注意点】

（1）MS Office付パソコン（MS Officeプリインストール版）は注意が必要

「Microsoft 365 Access ﾗﾝﾀｲﾑ をインストールしたら、プリインストールのOfficeが消えた」という事象が複数発生しました。
復旧には、MS Officeプリインストール版の再インストールが必要になります。
この問題を防ぐには、購入後にMS Officeプリインストール版を「マイクロソフトアカウントに紐付けて再インストール」する必要があります。

ソフトウェア要件

項目	サーバ用		クライアント用 （進捗端末含む）
	データサーバ用	アプリサーバ用（編集用）	
Access	ー	Access 2016 以降 製品版 （※2）（※5）（※7） ・・・有償	Access 2016 以降 ﾗﾝﾀｲﾑ版 （※2）（※5）（※6） ・・・無償
SQL Server	SQL Server 2016以降 Express（無償版）または Standard（製品版） （※1）（※3）（※4）	ー	ー
備考	Express（無償版）は、WILL生産管理用ｲﾝｽﾄｰﾙDVDに同梱されています。使用可能ﾒﾓﾘが1GBという制限がある為に「ﾃﾞｰﾀやｸﾗｲｱﾝﾄが増えるとｽﾋﾟｰﾄﾞが遅くなる」が弱点です。「ｽﾋﾟｰﾄﾞ改善」は、ｺﾝﾋﾟｭｰﾀの実装ﾒﾓﾘの追加(16GB以上)およびStandard（製品版）の導入をお勧めします。	Access製品版は、お客様にて調達して頂きます。	Accessﾗﾝﾀｲﾑ版はWILL生産管理用ｲﾝｽﾄｰﾙDVDに同梱されています。

（※1）他のｱﾌﾟﾘｹｰｼｮﾝ用にSQL Serverが導入されているｺﾝﾋﾟｭｰﾀにﾃﾞｰﾀｻｰﾊﾞを同梱できません。別途ﾃﾞｰﾀｻｰﾊﾞ用のｺﾝﾋﾟｭｰﾀをご用意ください。
（※2）Microsoft Office (Access)は32ﾋﾞｯﾄ版と64ﾋﾞｯﾄ版があります。Ver7は両方に対応しています。お勧めは64ﾋﾞｯﾄ版です。
（※3）SQLServerも32ﾋﾞｯﾄ版と64ﾋﾞｯﾄ版があります。Ver7は両方に対応しています。お勧めは64ﾋﾞｯﾄ版です。
（※4）SQLServer2014は2024年7月でｻﾎﾟｰﾄが終了しました。ｻﾎﾟｰﾄが終了した製品での動作確認は行っておりません。ご了承願います。
（※5）Access2013は2020年4月にｻﾎﾟｰﾄが終了しました。（同上）
（※6）Office2016以降のOffice製品が入ったｺﾝﾋﾟｭｰﾀにはAccess2016ﾗﾝﾀｲﾑ版ではなくMicroSoft365Accessﾗﾝﾀｲﾑをご利用ください。
（※7）Access製品版とは、Access単体製品、Accessを含むOfficeﾊﾟｯｹｰｼﾞ製品、Accessを含むMicroSoft365（旧Office365）製品を指します。
お勧めはAccessを含む「MicroSoft365（旧Office365）」です。
（※8）SQLServer Standard（製品版）はｸﾗｲｱﾝﾄ台数分（1台：50千円前後）のCAL購入が必要になります。
ここでいうｸﾗｲｱﾝﾄは、IP進捗端末(iphone・ipad・ipodTouch)やWeb進捗端末（ｶｼｵ製ﾊﾝﾃﾞｨﾀｰﾐﾅﾙ）なども含む合計のｸﾗｲｱﾝﾄ接続台数です。
（ｵﾌﾗｲﾝ進捗端末はｶｳﾝﾄしません）

参考（SQL・Office-OS組合せ表）…WILLﾊﾞｰｼﾞｮﾝ関連なし

		SQL SERVER 製品版/無償版 (※2) (※4)				OFFICE（Access含む）製品版/ﾗﾝﾀｲﾑ (※1) (※3)				
		2016 SP2	2017	2019	2022	2016	2019	2021	2024	MicroSoft 365
OS	Win10 Home 32/64ﾋﾞｯﾄ	×	×	×	×	○	○	○	○	○
	Win10 Pro 32/64ﾋﾞｯﾄ	○(64)	○(64)	○(64)	○(64)	○	○	○	○	○
	Win11 Home 64ﾋﾞｯﾄ	×	×	×	×	○	○	○	○	○
	Win11 Pro 64ﾋﾞｯﾄ	×	○(64)	○(64)	○(64)	○	○	○	○	○
	WinSvr2016 64ﾋﾞｯﾄ	○(64)	○(64)	○(64)	○(64)	○	×	×	×	○
	WinSvr2019 64ﾋﾞｯﾄ	○(64)	○(64)	○(64)	○(64)	×	○	○	×	○
	WinSvr2022 64ﾋﾞｯﾄ	×	○(64)	○(64)	○(64)	×	○	○	○	○
	WinSvr2025 64ﾋﾞｯﾄ	×	×	○(64)	○(64)	×	○	○	○	○

□ 25年10月サポート終了予定　□ 26年7月サポート終了予定

（※1）Access製品版の購入については「Access2024・MicroSoft365購入ガイド」参照のこと。
（※2）SQL SERVER製品版の購入については「SQLServer2022購入ガイド（お客様調達）」参照のこと。
（※3）上記OFFICE(ACCESS含む)-OS組合せ表はﾏｲｸﾛｿﾌﾄ公式「Office および Windows の構成サポート マトリックス」を参照しています。
（※4）上記SQL SERVER－OS組合せ表はﾏｲｸﾛｿﾌﾄ公式「Windows オペレーティング システムでの SQL Server のバージョン要件」を参照しています。
（※5）下記サポート終了済情報です。
・SQLServer2014は2024年7月にｻﾎﾟｰﾄが終了しました。
・Office2013（Accessを含む）は2023年4月にｻﾎﾟｰﾄが終了しました。
・Win8.1は2023年1月にｻﾎﾟｰﾄが終了しました。
・WinSvr2012およびWinSvr2012R2は2023年10月にｻﾎﾟｰﾄが終了しました。